

## 交通安全だより第8号

### I. 8月の安全運転管理について

#### 1. 高速道路走行時の安全運転

##### ～渋滞時の安全運転を意識する～

今年の夏は、帰省や旅行などにより人が移動する機会の増加が予想されます。高速道路の利用も例年以上に多くなると考えられるため、各地で渋滞が発生することを想定して、事前に高速道路走行時の安全運転について計画を立てておきましょう。高速道路では渋滞の最後尾の車に追突する事故が多発していることから、渋滞の発生を見落とさないように注意する必要があります。渋滞の発生により低速走行や停止する場合は、早めにハザードランプを点滅させて後続車に合図を出しましょう。また、渋滞を抜けようとして路肩を走行してはいけません。ルールを守ることを徹底しましょう。



##### ～十分な車間距離を保って走行しましょう～

近年、運転中の悪質・危険な行為が問題となっています。とくに、あおり運転は「妨害運転」として厳罰化され、高速道路等で他車を停止させるなどの著しい危険を生じさせた場合には、5年以下の懲役または100万円以下の罰金、違反点数35点で運転免許取り消しの対象となっています。ルールやマナーを守り、譲り合いの気持ちを持つ事を心掛けましょう。

##### ～逆走に注意～

高速道路では逆走による事故が多発しています。目的の出口を通り過ぎたからと言って転回したり、サービスエリアやパーキングエリアから本線に戻る際に、進行方向を間違えたりしないように注意しましょう。

#### 2. バッテリーの点検を実施

エアコンの使用が多くなってくると、バッテリー上がりが起こりやすいと言われています。バッテリーの寿命が近づくと、エンジン始動時のセルの回転が弱くなる、ヘッドライトなどの明るさが変わる、パワーウィンドウの動きが遅くなるといった症状が見られます。バッテリー交換の目安は2～3年と言われています。上記のような症状に気が付いたら、交換を検討しましょう。

#### 3. 生活道路での事故防止

夏休み中は日中に子供が出歩く機会が増えます。特に生活道路やゾーン30区域を走行する場合は、常に子供の存在を頭に入れて、徐行や一時停止といった標識を見落とさず、安全に走行するように注意しましょう。くわえて、見通しの悪い交差点では一時停止線の手前で停止し、そこから交差する道路を見渡せる位置までゆっくりと前進して、再度停止と安全確認を行う「二段階停止」を徹底するようにしましょう。

#### 4. 機械式立体駐車場を安全に利用するためには

機械式立体駐車場は、限られた広さの土地でも、多くの駐車スペースを確保できるため、マンションなど多くの利用者が想定される場所で使用されています。車を載せて動かすことから、大きな力が働きます。そのため、ほんの少しの不注意が重大事故につながりかねません。事故を防ぐには、設備自体の安全性はもちろんのこと、ユーザー側も細心の注意を払って利用することが重要です。利用する際は、以下の点に注意しましょう。

##### ①運転者以外は装置の中に入らない

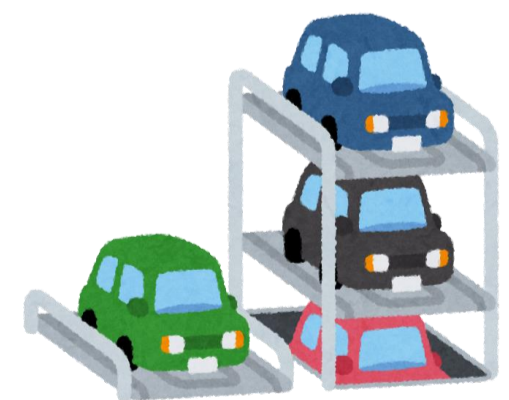
運転者以外は装置の外で乗降しましょう。やむを得ず、幼児等を同乗させたまま入庫しなければいけない場合は、退出の際、車の中や装置に人が残っていないことを必ず確認してから操作して下さい。

##### ②子供が装置に近づかないように注意する

装置の操作に集中していると、子供の動きに気がつかない場合があります。装置の隙間に子供が転落する事故が発生していることを踏まえ、停止中であっても、子供が装置に近づかないよう注意しましょう。

##### ③操作盤に鍵が挿されているときは操作をしない

操作盤に自分のものではない鍵が挿されている場合は、人が装置内に残っているおそれがあるため操作はしないでください。



機械式立体駐車場を利用する際は、事前に車載パレットの動きや操作盤の操作方法、緊急時の対処方法なども確認したうえで利用することを徹底して下さい。

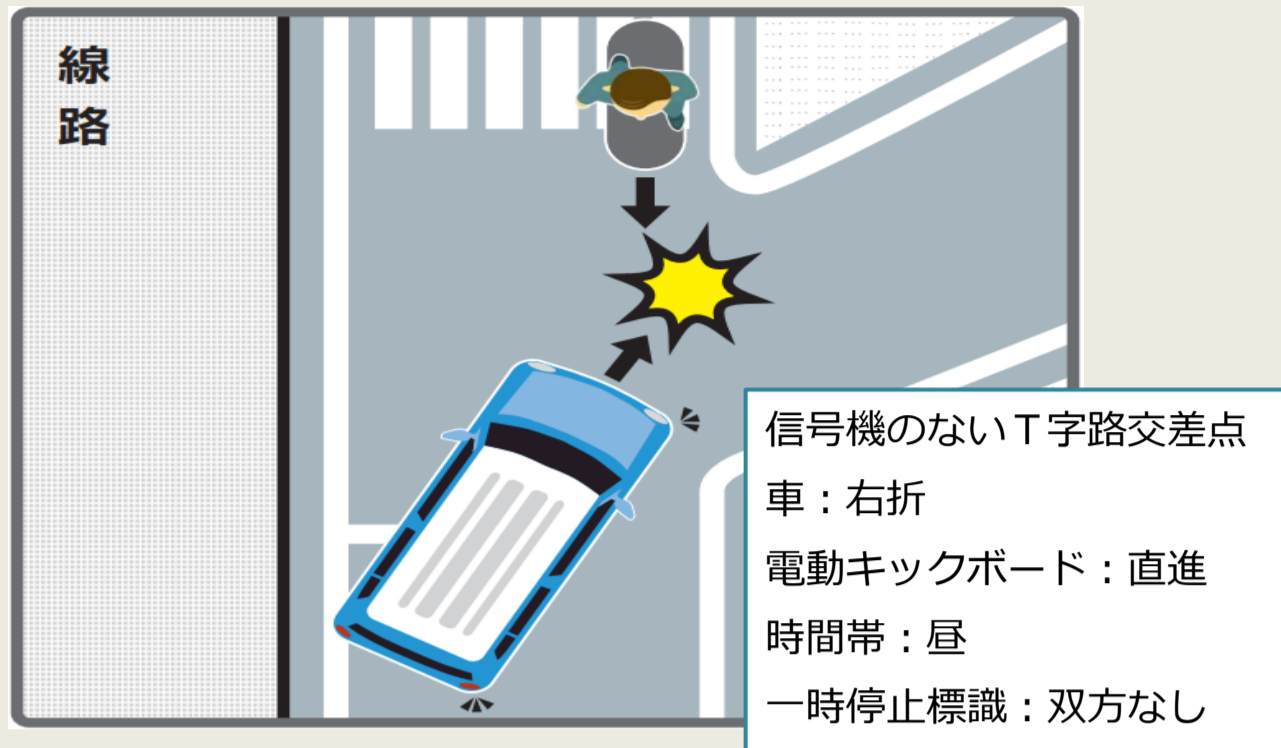


## II. まさかの事故を知り、対策を考えよう

交通事故は予測できるものばかりではありません。実際に発生した“まさか”の事故パターンを紹介します。運転中にはこうしたパターンも頭に入れておくことで同様の事故を防ぎましょう。

### 事例1 電動キックボードとの衝突事故

線路沿いの道路を走行中の車が、右折する際に直進してきた電動キックボードと衝突した。



#### 事故の原因と対策

- 原因1**：右折車の運転者が電動キックボードの存在を見落とした。  
**対策**：一時停止の必要のない交差点であっても、必ず徐行して安全確認を行ってから右折すること。
- 原因2**：右折車の運転者が、電動キックボードの速度が遅いと勘違いして、自車の右折を優先させた。  
**対策**：電動キックボードは想像以上に速度が出るため、見た目判断せずに速度を見極め、無理な右折はしないこと。

### 事例2 路上横臥者を轢過する事故

夜間の走行中、路上で横臥している人に気づくのが遅れて轢過した。



#### 事故の原因と対策

- 原因1**：運転者が「道路上に人はいない」と思い込んでいた。  
**対策**：繁華街を中心に路上横臥者を轢過する事故が発生している。路上横臥者の存在は常に意識しておくこと。
- 原因2**：先行車や対向車がいなくても関わらず、ロービームで走行していた。  
**対策**：夜間はハイビームを基本とすることで路上横臥者のような“まさか”の存在を早期に発見できるように努めること。

### 事例3 高速道路で逆走車と正面衝突

高速道路の追い越し車線を走行中、逆走車と正面衝突した。

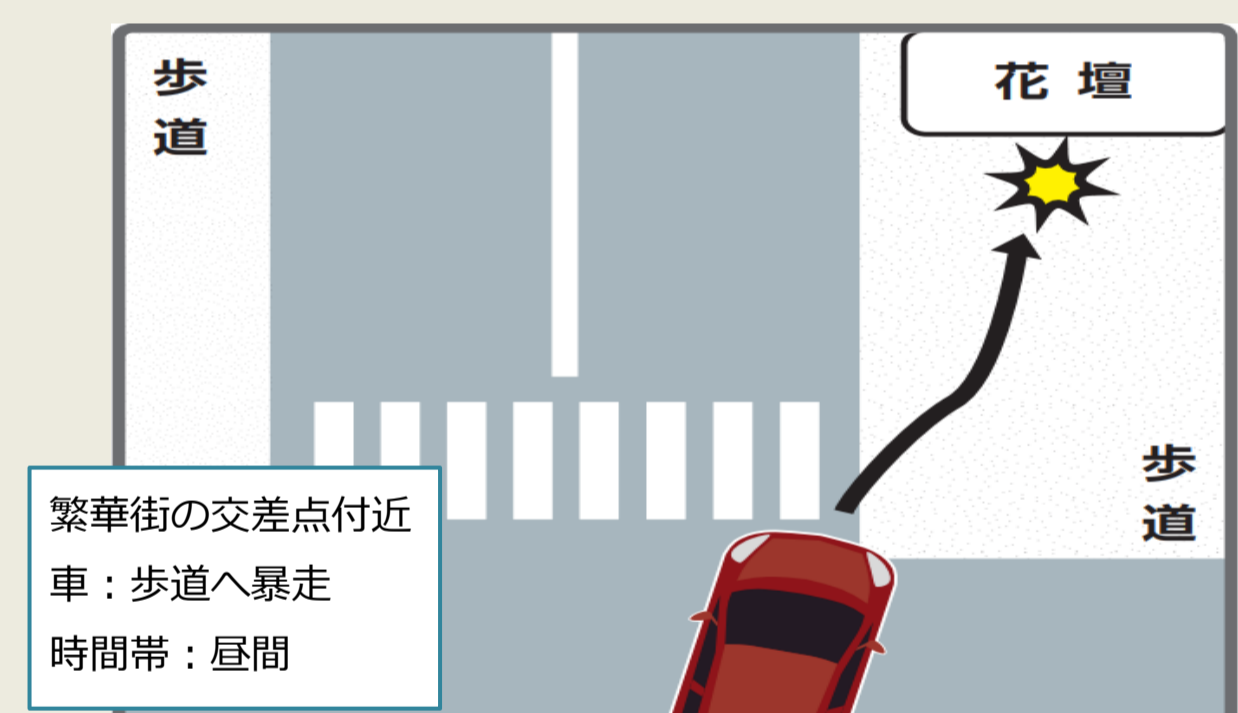


#### 事故の原因と対策

- 原因1**：逆走車に気づくのが遅れて、衝突を回避できなかった。  
**対策**：逆走車は追い越し車線を走行してくる傾向がある。必要な場合を除いて走行車線を走行するようにして、情報板等の逆走情報を見落とさないように注意深く運転すること。
- 原因2**：SA・PA等で出口と入口を間違えてしまったり、ルート間違えて転回するなどして逆走してしまった。  
**対策**：進行方向を示す道路上の矢印の標示や「進入禁止」等の標示板を確認して走行する。ルート間違えた場合は決して転回やバックはせずそのまま進行して次の出口で降りること。

### 事例4 運転中に意識を失い暴走

繁華街を走行中、運転者が意識を失って車が制御不能となり、歩道へ突っ込むなど暴走した。



#### 事故の原因と対策

- 原因1**：車の運転者が事故直前に大動脈解離を発症し意識を失った。  
**対策**：運転中に急病が発症して意識を失うと、重大事故に繋がる。少しでも体調に不安を感じたら運転をとりやめたり、安全な場所に停止して様子を見ること。
- 原因2**：運転者には大動脈解離発症の要因の一つである、高血圧の症状があった。  
**対策**：健康状態に起因する事故は誰にでも起こり得る。日頃から体調管理に努め、必要に応じて通院などの対処をとること。

## III. 今月の交通ヒヤリハット

・危険予知活動に利用してください。

いつ	通勤途中	どこで	一般道
何をしている時に	窓を開けて運転していた時		
どうなった	後部座席に置いていたレジ袋が風で舞い上がり、顔に張り付いて前方が見えなくなった		